

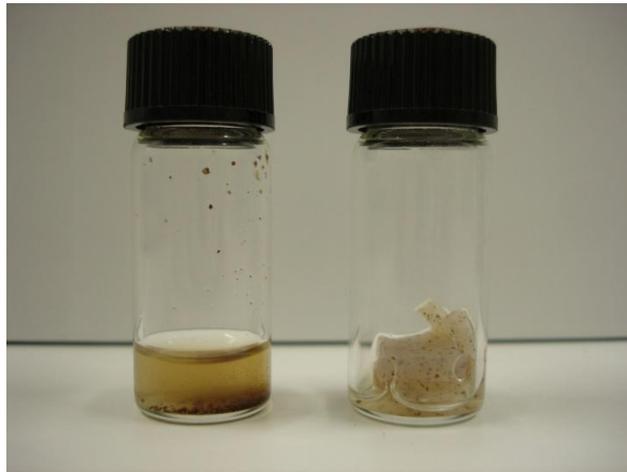
β -1,4-Mannanase TT1

弊社製品「 β -1,4-Mannanase TT1」を用いたコンニャクの分解実験です。

基質には、pH 6.0 の Buffer に浸漬したコンニャクを用いました。

コンニャクを 1g とり、そこに、弊社製品「 β -1,4-Mannanase TT1」を添加後、60°Cで反応を行いました。

比較対象として、酵素を加えないものも、同様に反応を行っています。



左：酵素あり、右：酵素なし、となっています。

酵素非添加のものが、コンニャクの原因を保ち続けている一方で、酵素を添加したものはもう原因をとどめていません。

ちなみに、つぶつぶと何かが残っているように見えますが、これはコンニャクに混ぜこまれている海藻で、 β -1,4-Mannanase TT1 の基質とはならないため、分解はされません。

今回の実験に使用した酵素は、「製品酵素ラインナップ」よりご確認・ご購入いただけます。